



中学生創造アイデアロボットコンテストの審査

教育学部 教授 橋爪 一治

令和7年11月9日に島根県松江市立義務教育学校玉湯学園の第2体育館で開催された第20回島根県中学生創造アイデアロボットコンテストに、審査委員長として参加しました。この大会は毎年開催されていますので、ご存じの方も多いと思いますが、この大会は中学校技術・家庭科で学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行い、その成果を発表する場として設けられています。主催は、島根県中学校技術・家庭科研究会であり、島根大学教育学部も協力をしています。

今年の競技は基礎部門「積み上げ達人」、制御部門「Mission is“整地！2025” by プログラムカー」、応用部門「ジ・「メッセージタワー2」」、パフォーマンスの4部門に分かれて開催されました。大変に創意工夫をこらした高い技術力を持ったロボットばかりで、熱戦が繰り広げられました。わたしも、審査委員長としてそれぞれのロボットの動作機構の着想や制御技術に驚かされ、中学生とは思えない程の完成度の高さに感心しました。



島根県中学生創造アイデアロボットコンテストの様子
島根大学教育学部の学生も、補助員として参加してくれました。